

慶福万来

## 「世界一の幸せ者、 宏明くん♥綾子さん」

北岡淳児

この文章を皆さんが目にする頃には、すっかりサラリーマンの姿に貫禄が備わったオッサンの宏明くんと、すっかり家庭に納まった専業主婦のそこのオバチャンの綾子さんとが、なぜかしら腕を組みまるで若いカップルのように寄り添って茨木市内でショッピングをしている姿を目にするでしょう。

そうです！なんと三田村宏明くんと眞澤綾子さんは昨年10月8日をもって結婚してしまったのです。航空部時代の宏明くんと言えば、主将でグライダーに対する熱の入れ方は異常なほどの頑固者で後輩を始め、先輩までもが恐れてしまう、ほぼ色事には無関係のように見えました。一方、綾子さんと言えば、その美貌で教官を含む周囲の全ての男性を夢中にさせるものの、発泡スチロールの緩衝材をお菓子と思って食べてしまう純天然ボケで、とても色事とは無関係のように見えました。それだからこそ、2人ともそ知らぬ顔をして同じ屋根の下で寝泊りする合宿生活を続けていたのです。しかし、宏明くんも綾子さんも人一倍寂しがり屋という共通項を持ち、その全てを顔で表現してしまうので、非常に分かりやすい奴で、実はその仲睦まじさはみんなにバレバレでした。

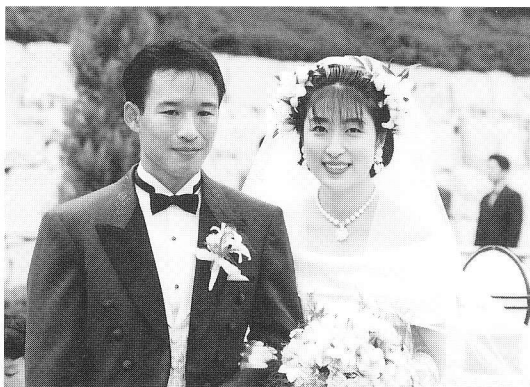
それが、私たちがほとんど1から作り上げた披露パーティーの場で暴露され、参加されていた人以上に本人たちの方が、「なんでそなん知ってんの〜？」という感じで驚いていました。そうそう、その披露パーティーというのは、披露宴と二次会をたして2で割ったようなもので、「新郎新婦参加型会費制同世代限定披露宴」とも言い換えられます。そんなリーズナブルな結婚式を計画したのも、入社半年にして2人分養う宏明くんに当然のことながら学生時代に貯めたお金などマイナ

スでしかない(?)ことから明らかでした。というものの新婚旅行はニュージーランドと人並みで、さらに写真とともに1から10まで熱々ののろけ話を聞かされ、その愛情の深さは人10倍といったところで、結婚は2人の満足のいく形でさえいればそれで十分、と改めて感じさせられました。

そのパーティーに招かれた100人以上の友人たちの中には、急激に「結婚もえーもんやなー」と思い始めた人も多い、とその後に小耳に挟みました。それだけ幸せのオーラを出し続けている2人の影響力は絶大なものだったのでしょう。(くそっ！この幸せ者が！)

きっと5年後も10年後も冒頭に記述した2人の姿には変わりはないことでしょう。

(平成5年卒)



## キャプテン おめでとう!

桐 谷 茂

ようやく、私達の代も翔友に同期の結婚を報告することができることになりました。

同期の先陣をきって、めでたくゴールインしたのは我らがキャプテン藤田浩行君です。

お相手は、みどりさんといい、保健所で保健婦をされていましたが、結婚を機に退職され、この4月からは新たに神戸で学校の保健室に勤務されるということで、やさしくて努力家で芯の強い女の子です。

藤田君とみどりさんは、平成5年の夏に知り合われました。その直後に彼と飲みに行く機会があったのですが、彼は「やっと俺にも春が来た」と大変な舞い上がり様で、とにかく毎日の様に彼女に電話をしていたそうで、飲んでる最中にも「ちょっと電話して来るわ」と行ってしまう始末でした。

その後、平成6年の正月に彼と会った時には、もう彼女の両親にも挨拶を済ませたと聞かれ、春に会った時には、結婚式は11月26日に決まったから、その日は空けておくように言われるなど、たたみかけるような素早い展開でありました。

新婚旅行はメキシコに行かれたそうで、往復の飛行機の切符だけを持って、あとは着いてから気の向くままに旅をされたとのことで海外旅行と言えば、中国や東南アジアと今まで数々の危ない橋を渡って来た、いかにも藤田君らしい旅行だと感じました。

学生時代の藤田君は、どんな粗食にも過酷な環境にも耐えることができる、ゴキブリの様な生命力を持つナイスガイでした。そういう彼の素晴らしい点は、今でも少しも変わっていないと思います。

藤田君とみどりさんなら、どんな困難でもサバイバルして行けると思います。末永い幸せを心か

ら祈っています。

(昭和61年卒)



## 間もなく挙式!

松田剛君(H3卒)と栗山伸子さん(H3卒)は、入籍を済まし、新郎は JAL のパイロット訓練生として、アメリカで訓練中、新婦は航空管制官として成田で特訓中のため、お2人の訓練卒業を待って挙式の予定。おめでとう!

—— 編集部 ——

